

平成30年度久留米市田主丸財産区
歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

平成30年度久留米市田主丸財産区歳入歳出決算及び附属書類

2 審査の期間

令和元年7月19日から令和元年9月5日まで

3 審査の方法

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は法令に基づいて調製されているか、決算計数等は正確であるか、予算の執行は適正になされているか等を主眼として関係諸帳簿その他の書類等により照合及び確認、内容の検討を行うとともに、関係職員から補足説明を聴取し、審査を実施した。

4 審査の結果(意見)

審査に付された決算書及び附属書類は関係法令に準拠して調製されており、おおむね適正に作成されていた。また、現金・預金については、残高証明書と歳入歳出差引残高とが符合した。

以下、平成30年度決算の概要及び意見を述べることとする。

なお、決算審査資料を末尾に添付しているので参照されたい。

(1) 決算の概要

(単位:千円・%)

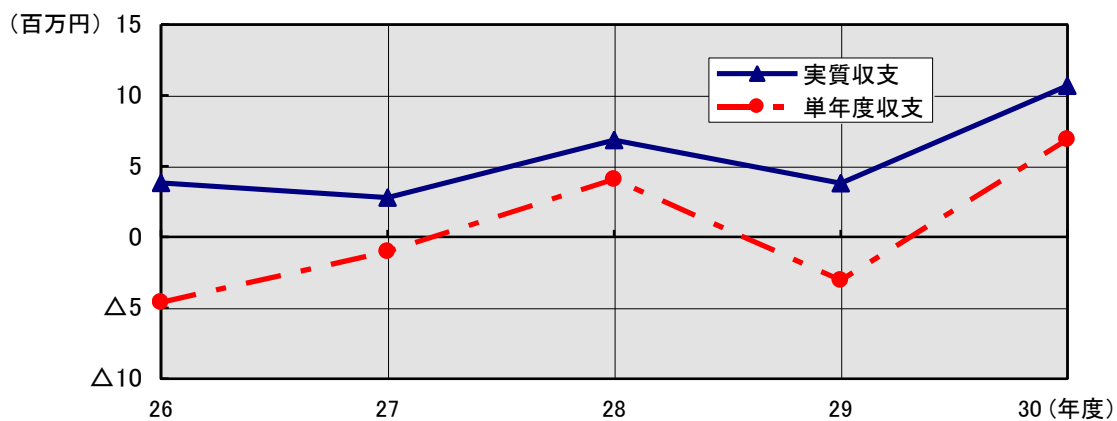
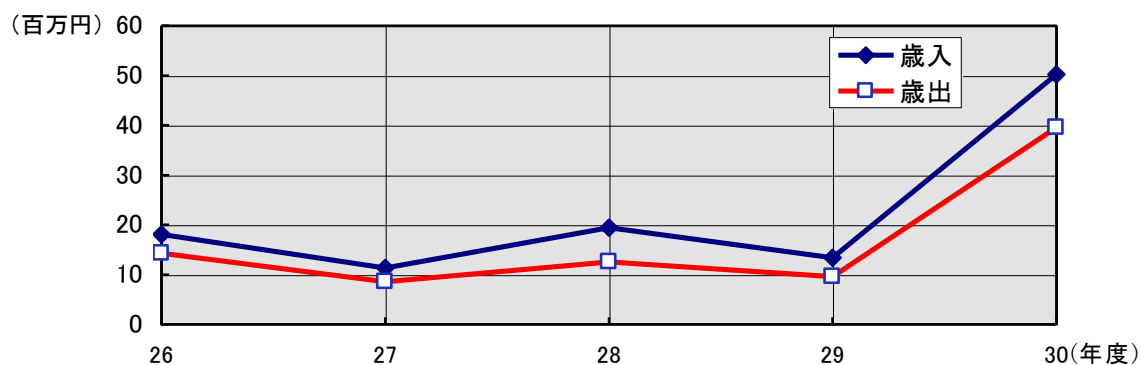
区 分	平成30年度 A	平成29年度 B	比較増減額 A-B C	増減比率 C/B	予算執行率
予 算 現 額	72,360	22,430	49,930	222.6	/
歳 入 決 算 額	50,220	13,356	36,864	276.0	69.4
歳 出 決 算 額	39,542	9,563	29,979	313.5	54.6
歳入歳出差引残額	10,678	3,793	6,885	181.5	/

歳入歳出差引残額1,067万8千円が、剰余金として翌年度に繰り越されている。

本年度の歳入の主なものは、繰入金2,800万円、財産収入905万3千円、県支出金673万4千円、繰越金379万3千円である。一方、歳出の主なものは、林業費3,313万5千円、議会費280万4千円となっている。

なお、最近5か年の決算規模並びに実質収支及び単年度収支の推移を示すと、次のとおりである。

最近5か年の決算規模並びに実質収支及び単年度収支の推移



区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳入 (A)	18,089	11,333	19,403	13,356	50,220
歳出 (B)	14,268	8,544	12,554	9,563	39,542
形式収支(A)-(B)	3,821	2,789	6,849	3,793	10,678
実質収支	3,821	2,789	6,849	3,793	10,678
単年度収支	△4,617	△1,032	4,060	△3,056	6,885

(2) 財産に関する調書

ア 公有財産(建物及び山林) ※建物面積の小数点以下は四捨五入している。

区 分	面 積 (㎡)			立木の推定蓄積量 (m³)		
	平成30年度	平成29年度	増減	平成30年度	平成29年度	増減
建 物	57	57	0			
山 林	7,706,637	7,706,637	0	325,538	326,745	△1,207

本年度は、建物及び山林の面積に変動はない。立木の推定蓄積量については、5年ごとに成長量等を推計する際に、売却等による減少分と合わせて算出している。本年度の数値は県が作成した森林簿(平成30年度調査)の数値を基にしたものである。

イ 物 品

(単位:台)

区 分	平成30年度末 現在高	平成29年度末 現在高	増 減
軽四輪貨物	1	1	0
チェーンソー	2	1	1

本年度は、チェーンソーが1台増加しており、本年度末現在高は軽四輪貨物及びチェーンソーの計3点となっている。

ウ 基 金

(単位:千円)

区 分	平成30年度末 現在高	平成29年度末 現在高	増 減
田主丸財産区基金	251,247	278,383	△27,136

減少分の2,713万6千円は、基金取崩額2,800万円と基金運用による利子収入の積立額86万4千円との差額である。

(3) むすび

本年度決算の概要及び財産の概況は、表及びグラフ等に示したとおりである。それらに係る特徴又は事情等としては、次のようなことが挙げられる。

歳入歳出決算において、歳入の5,022万円に対して、歳出は3,954万2千円で、差し引き後の実質収支額は1,067万8千円の黒字となり、単年度収支は688万5千円の黒字となっている。

歳入のうち、繰入金は財産区基金からの繰入の増に伴い2,500万円増加し、財産収入

は、前年度は切捨間伐のみで木材の売却がなかったのに対し、本年度は搬出間伐を行い、木材を売却したこと等により財産売払収入が増加し、800万2千円増加した。また、県支出金の563万4千円の増加と、市支出金の30万4千円の増加は、前年度より造林事業の規模が拡大したことで、補助金が増加したことによる。剰余金として本年度に繰り越した繰越金は、前年度決算剰余金の減により、305万6千円減少している。

一方、歳出のうち、林業費は前年度に比べて3,099万7千円増加しているが、これは、森林作業道の開設など、造林事業の規模が拡大したことによる。議会費は52万4千円減少しているが、これは2年に1回実施される財産区議員の視察研修について、本年度は実施年度ではなかったことによる。

新たな収入源として、平成24年度から取り組んでいるカーボン・オフセット・クレジット事業は、7年間で、売上収入の累計が639万1千円となり、当初の投資金額(259万8千円)を上回っている。当事業の売上収入は前年度127万8千円、本年度125万3千円となっており、前年度に事業開始以降最高となった売上収入を本年度もほぼ維持している。今後も、PR活動を推進しつつ、平成27年度に再認証を受けたクレジットを活用し、当事業の一層効果的な運営に努められたい。

一方で、平成8年度から11年度まで公有林整備資金として借り入れた債務は、前年度から元利償還が開始され、令和11年度まで最大で年に453万1千円の支出が続くことになる。その償還のための資金は、現状では財産収入によって全額を生み出すことは困難で、本年度は財産区基金から2,800万円を繰り入れ、その一部を償還の財源としている。中期財政計画によると、今後も基金を毎年取り崩しての返済を予定しており、財政事情は良好とは言えない。

林業従事者の減少及び高齢化など、林業を取り巻く状況は引き続き厳しいものとなっている。財産区に期待される、森林の育成管理や多面的機能(水源涵養機能、土砂流出防止機能、二酸化炭素の吸収機能等)の維持という、公共的・公益的な役割を果たすとともに、今後も引き続き、長期的な視点に立ち、財産区としての将来を慎重に検討した上で、適正な運営に努められたい。

(資料1) 田主丸財産区 平成30年度 歳入歳出予算決算対照表

歳入

(単位:円・%)

款別	(イ) 予算現額	調定額	(ロ) 収入済額	不納欠損額	収入未済額	(ロ)の(イ)に対する割合	収入済額の構成比率
1 県支出金	15,302,000	6,734,600	6,734,600	0	0	44.0	13.4
2 市支出金	1,461,000	304,090	304,090	0	0	20.8	0.6
3 財産収入	21,837,000	9,052,628	9,052,628	0	0	41.5	18.0
4 繰入金	28,000,000	28,000,000	28,000,000	0	0	100	55.8
5 繰越金	4,051,000	3,793,051	3,793,051	0	0	93.6	7.6
6 諸収入	1,709,000	2,336,306	2,336,306	0	0	136.7	4.6
合計	72,360,000	50,220,675	50,220,675	0	0	69.4	100

歳出

(単位:円・%)

款別	予算現額			(ロ) 支出済額	不用額	(ロ)の(イ)に対する割合	支出済額の構成比率
	当初予算額	補正予算、繰越等、予備費、流用増減	(イ) 計				
1 議会費	3,035,000	0	3,035,000	2,804,131	230,869	92.4	7.1
2 総務費	2,389,000	0	2,389,000	1,009,247	1,379,753	42.2	2.5
3 林業費	63,697,000	0	63,697,000	33,134,702	30,562,298	52.0	83.8
4 諸支出金	2,596,000	0	2,596,000	2,594,361	1,639	99.9	6.6
5 予備費	643,000	0	643,000	0	643,000	0	0
合計	72,360,000	0	72,360,000	39,542,441	32,817,559	54.6	100

(資料2) 田主丸財産区 歳入歳出決算額の年度別比較表

(単位:円・%)

款別	平成30年度			平成29年度			平成28年度		
	決算額	伸び率	構成比率	決算額	伸び率	構成比率	決算額	伸び率	構成比率
歳入決算額	50,220,675	276.0	100	13,356,391	△ 31.2	100	19,403,176	71.2	100
1 県支出金	6,734,600	511.8	13.4	1,100,720	△ 29.9	8.2	1,569,410	△ 19.0	8.1
2 市支出金	304,090	皆増	0.6	0	皆減	0	754,620	△ 20.1	3.9
3 財産収入	9,052,628	761.6	18.0	1,050,672	△ 83.8	7.9	6,468,861	364.3	33.3
4 繰入金	28,000,000	833.3	55.8	3,000,000	△ 57.1	22.5	7,000,000	皆増	36.1
5 繰越金	3,793,051	△ 44.6	7.6	6,849,325	145.5	51.3	2,789,680	△ 27.0	14.4
6 諸収入	2,336,306	72.3	4.6	1,355,674	65.2	10.1	820,605	△ 74.7	4.2
歳出決算額	39,542,441	313.5	100	9,563,340	△ 23.8	100	12,553,851	46.9	100
1 議会費	2,804,131	△ 15.7	7.1	3,327,803	24.4	34.8	2,674,416	△ 11.5	21.3
2 総務費	1,009,247	△ 25.8	2.5	1,359,957	△ 31.6	14.2	1,988,955	9.5	15.8
3 林業費	33,134,702	1,450.3	83.8	2,137,320	△ 72.9	22.4	7,890,480	112.8	62.9
4 諸支出金	2,594,361	△ 5.3	6.6	2,738,260	皆増	28.6	0	-	0
5 予備費	0	-	0	0	-	0	0	-	0